

スマホ操作だけで多要素認証を始める方法

(はじめに)

多要素認証の導入後、学外からシステムにログインするためには、これまでの①IDとパスワードによる認証に加えて、②認証コードによる認証を行わないと学外からログインすることができません(学内でログインする場合は①のみ)。

認証には、①の操作を行う端末と②の認証コードを表示させる端末が必要となり、同じ端末で操作することもできますが、**初回ログイン時のみ、①はパソコン、②はスマホで操作していただくことをお勧めします。**

※ご自宅等の学外でパソコンとスマホの両方を使用できる環境がある方は、先にご案内した「学外から学務情報システムにログインする方法」<https://www.iess.niigata-u.ac.jp/pdf/250.pdf>をご覧ください。

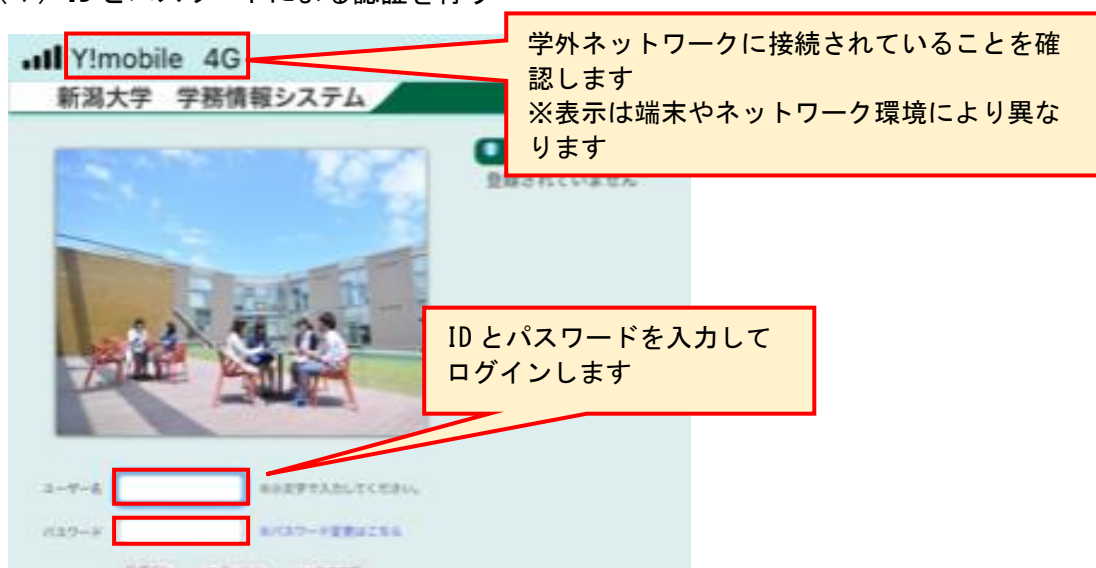
ただし、自宅等の学外で操作する環境がない(パソコンがない、自宅にスマホ以外のネットワーク環境がない等)場合は、以下の手順によりスマホだけで多要素認証を行うための設定を行ってください。

【スマホ操作だけで多要素認証を始めるための初期設定】

※この操作を行う前にアプリ「Google Authenticator」をインストールしてください。

※多要素認証が導入後(令和5年3月1日以降)に操作してください。

(1) IDとパスワードによる認証を行う



The image shows a mobile browser interface for the Niigata University student information system. At the top, the status bar shows 'Y!mobile 4G'. Below it, the page title is '新潟大学 学務情報システム'. The main content area features a photograph of students sitting on a bench outdoors. At the bottom, there are two input fields: 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password). Two red callout boxes provide instructions: one points to the top status bar, and the other points to the input fields.

学外ネットワークに接続されていることを確認します
※表示は端末やネットワーク環境により異なります

IDとパスワードを入力してログインします

(2) 認証コードによる認証準備 (初回ログイン時だけの操作)

初めてログインした時だけ QR コードが表示されるため、この QR コードの情報を Google Authenticator に読み込ませます (Google Authenticator アカウント情報の登録)。



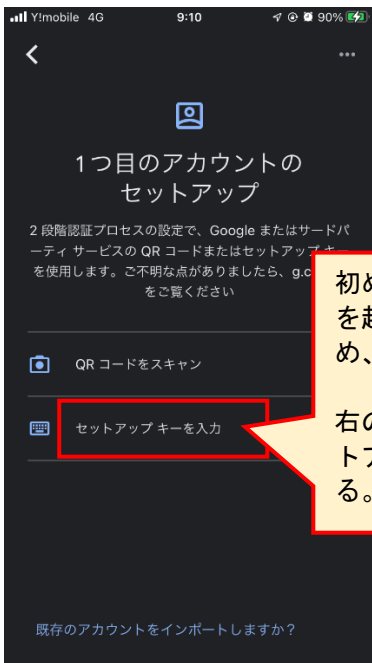
この画面をスマホに表示した状態では、Google Authenticator を起動して QR コードを読み込ませることができないため、下に表示された文字列をコピーする。

※コピー操作ができない場合は、文字列を書き留めておく。

(注意) 以下の事前設定作業が終わるまで、「戻る」ボタンは押さないでください。
戻ってしまった場合は、リセット (5 ページ参照) して初めからやり直してください。



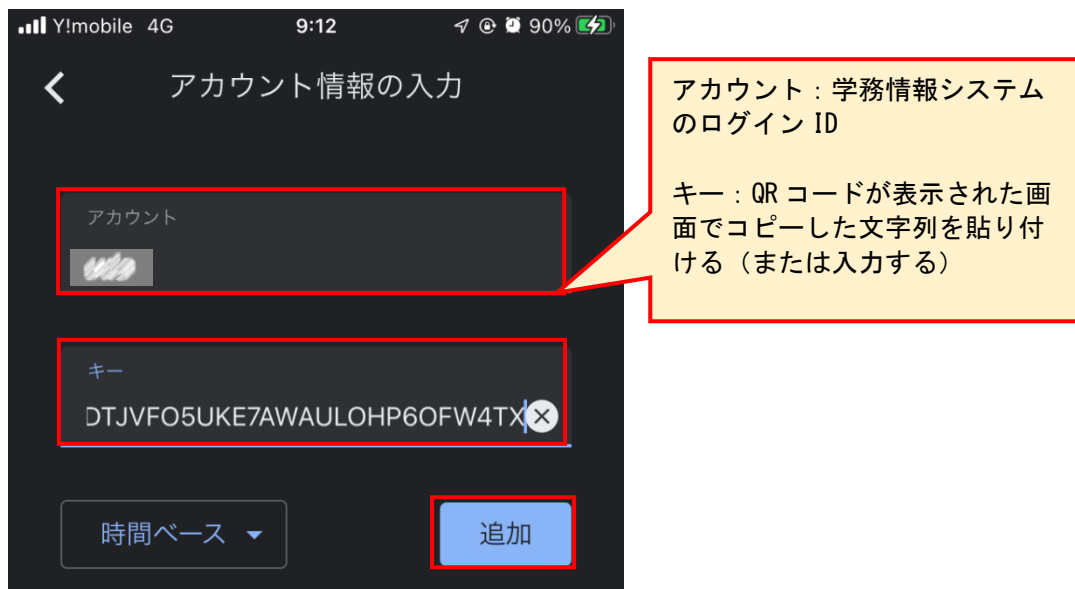
Google Authenticator を起動します。



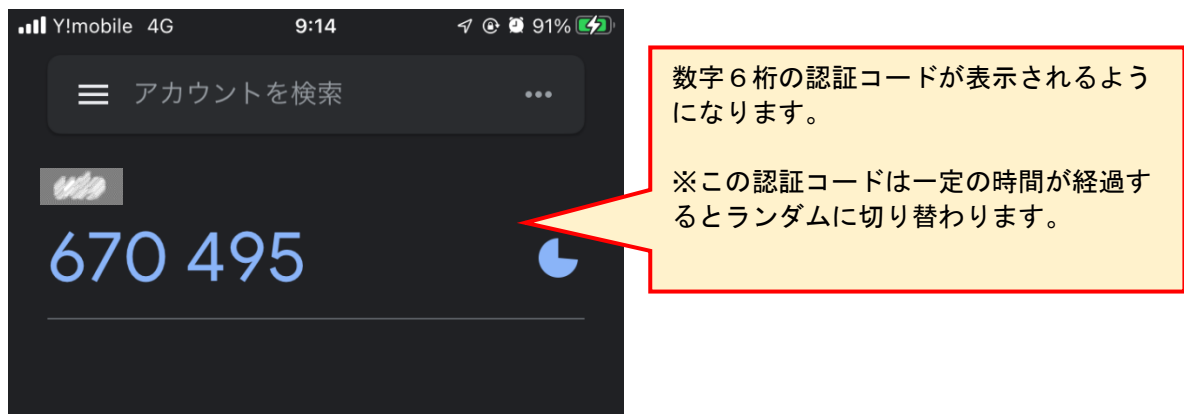
初めて Google Authenticator を起動すると左の画面になるため、「開始」を押す。

右の画面が表示されたら「セットアップキーを入力」を選択する。

アカウント情報入力画面でアカウント（学務情報システムの ID）とキーを入力して追加を押します。



アカウント情報が登録され、認証コードが表示されるようになれば事前設定は完了です。



※スマホを入れ替えた場合は、リセット（5 ページ参照）して新たなスマホで再度アカウント情報を登録する必要があります。

QRコード表示画面に戻り、「戻る」ボタンを押してパスワード認証画面に戻ります。

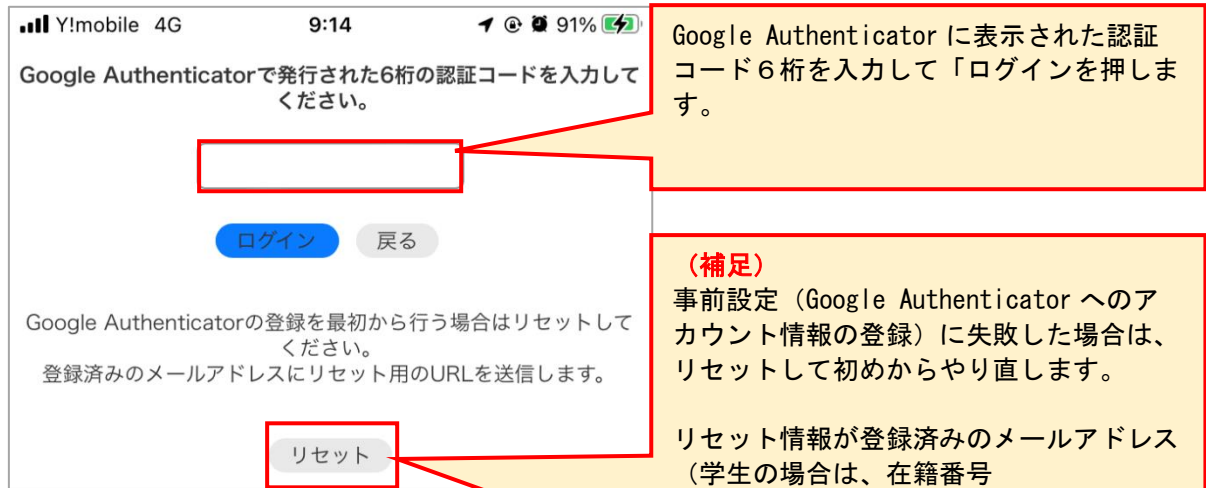


(3) 認証コードによる認証（2回目のログイン以降の操作）

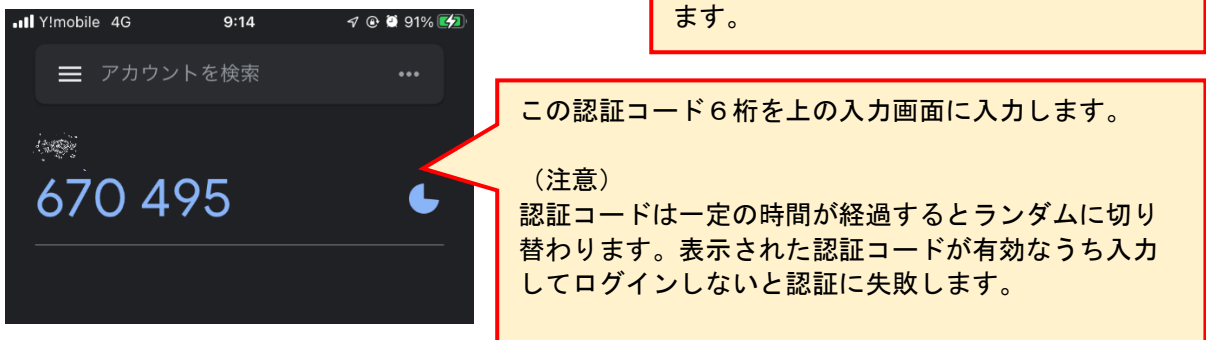
再度ログイン画面でユーザー名（ID）とパスワードを入力してログインします。



ログイン後、認証コード入力画面が表示されます。



(Google Authenticator の画面)



認証に成功するとメイン画面が表示されます。

2回目のログイン以降は、(3) 認証コードによる認証の操作を繰り返します。

